

学校コード F138110110382

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

意見伺い

注2

愛媛大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 (博士後期課程)

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人愛媛大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部評価IR課

職名・氏名 ヒョウカ カチョウ オリタ リュウジ
評価IR課長 織田 隆司

電話番号 089-927-9012

(夜間) 089-927-9012

e-mail hyouka@stu.ehime-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

医学系研究科

＜看護学専攻博士後期課程＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人愛媛大学

(2) 大学名

愛媛大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒791-0295
愛媛県東温市志津川454
(〒790-8577
愛媛県松山市道後樋又10番13号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオハシ ユウイチ) 大橋 裕一 (平成27年4月)	(ニシナ ヒロシゲ) 仁科 弘重 (令和3年4月)	任期満了による変更 (令和3年4月1日) (3)
理事	(ユゲ トシヒロ) 弓削 俊洋 (平成27年4月)	(ヤヒロ ヒデノリ) 八尋 秀典 (令和3年4月)	任期満了による変更 (令和3年4月1日) (3)
研究科長	(ヤマシタ マサカツ) 山下 政克 (平成31年4月)		
専攻長	(スヤマ ケイコ) 陶山 啓子 (平成28年4月)	(ヤクシジン ユウコ) 薬師神 裕子 (令和4年4月)	任期満了による変更 (令和4年4月1日) (4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学系研究科 看護学専攻 博士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	3 年	2 人	0 人	6 人		【基礎となる学部等】 医学部看護学科 医学系研究科看護学専攻博士前期課程

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	1.50倍	-	
志願者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]	4 [-]	(-) [-]	5 [-]	(-) [-]			
受験者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]	4 [-]	(-) [-]	5 [-]	(-) [-]			
合格者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]			
B 入学者数	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]	3 [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					3 [-] (-)	- [-] (-)	3 [-] (-)	- [-] (-)	3 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次							3 [-] (-)	- [-] (-)	2 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次									3 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次											
計	- [-] (-)		- [-] (-)		3 [-] (-)		6 [-] (-)		8 [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	3人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	6人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	0人	0人	
令和4年度	8人	1人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	0人	0人	
			令和3年度	1人	0人	就学意欲の喪失(1人)
			令和4年度	0人	0人	
合計		1人		1人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学系研究科看護学専攻博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	生活支援看護開発学特講	1前	2			7	2					2
	地域看護システム開発学特講	1前	2			3						
	地域包括ケア演習	1後	2			4	1	1				
	小計(3科目)	-	6			10	2	1				
関連科目	地域医療学	1後		2		2						5
	応用統計学	1後		2			1					1
	研究方法特講	1後		2		5						1
	小計(3科目)	-		6		6	1					6
特別研究	地域包括ケア開発学特別研究	1~3 通年	6			10	2	1				
	小計(1科目)	-	6			10	2	1				
合計(7科目)		-	12	6		10	2	1				8
卒業要件及び履修方法												
修了要件は博士後期課程に3年以上在学し、専門科目の必修科目6単位、関連科目の選択科目から2単位以上、特別研究の必修単位6単位の合計14単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文審査並びに最終試験に合格すること。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	生活支援看護開発学特講	1前	2			7	1					2
	地域看護システム開発学特講	1前	2			3						
	地域包括ケア演習	1後	2			4	1	1				
	小計(3科目)	-	6			10	1	1				
関連科目	地域医療学	1後		2		2						5
	応用統計学	1後		2			1					1
	研究方法特講	1後		2		5						1
	小計(3科目)	-		6		6	1					6
特別研究	地域包括ケア開発学特別研究	1~3 通年	6			10	1	1				
	小計(1科目)	-	6			10	1	1				
合計(7科目)		-	12	6		10	1	1				8
卒業要件及び履修方法												
修了要件は博士後期課程に3年以上在学し、専門科目の必修科目6単位、関連科目の選択科目から2単位以上、特別研究の必修単位6単位の合計14単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文審査並びに最終試験に合格すること。												

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	生活支援看護開発学特講	1前	2			7	2					
	地域看護システム開発学特講	1後	2			3						2
	地域包括ケア演習	1後	2			4	1	1				
	小計(3科目)	-	6			10	2	1				2
関連科目	地域医療学	1後		2		2						5
	応用統計学	1後		2			1					1
	研究方法特講	1後		2		5						1
	小計(3科目)	-		6		6	1					6
特別研究	地域包括ケア開発学特別研究	1~3通	6			10	2	1				
	小計(1科目)	-	6			10	2	1				
合計(7科目)		-	12	6		10	2	1				8
卒業要件及び履修方法												
修了要件は博士後期課程に3年以上在学し、専門科目の必修科目6単位、関連科目の選択科目から2単位以上、特別研究の必修単位6単位の合計14単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文審査並びに最終試験に合格すること。												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	生活支援看護開発学特講	1前	2			7	2					
	地域看護システム開発学特講	1前	2			3						2
	地域包括ケア演習	1後	2			4	1	1				
	小計(3科目)	-	6			10	2	1				2
関連科目	地域医療学	1後		2		2						5
	応用統計学	1後		2			1					1
	研究方法特講	1後		2		5						1
	小計(3科目)	-		6		6	1					6
特別研究	地域包括ケア開発学特別研究	1~3通	6			10	2	1				
	小計(1科目)	-	6			10	2	1				
合計(7科目)		-	12	6		10	2	1				8
卒業要件及び履修方法												
修了要件は博士後期課程に3年以上在学し、専門科目の必修科目6単位、関連科目の選択科目から2単位以上、特別研究の必修単位6単位の合計14単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受け、博士論文審査並びに最終試験に合格すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、「地域看護システム開発学特講」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

【令和3年度】

特になし。

【令和4年度】

- ・「生活支援看護開発学特講」は教員退職により、専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・「地域包括ケア演習」は教員退職により、別の専任教員（准教授）を配置。
- ・「地域包括ケア開発学特別研究」は教員退職により、専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	3 科目	科目	7 科目	4 科目 [-]	3 科目 [-]	科目 [-]	7 科目 [-]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2		該当なし				
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{7} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	建物を新営したことに よるもの(4)			
	校舎敷地	321,266 316,958 m ²	0 m ²	0 m ²	321,266 316,958 m ²				
	運動場用地	79,745 m ²	0 m ²	0 m ²	79,745 m ²				
	小 計	401,011 396,703 m ²	0 m ²	0 m ²	401,011 396,703 m ²				
	そ の 他	4,257,149 4,261,457 4,257,546m ²	0 m ²	0 m ²	4,257,149 4,261,457 4,257,546m ²				
	合 計	4,658,160 4,654,249 m ²	0 m ²	0 m ²	4,658,160 4,654,249 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	建物を新営したことに よるもの(4)				
	220,539 219,996 m ² (m ²)	m ²	m ²	220,539 219,996 m ² (m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 施設整備によるもの (4)			
	132 127 125室	93 100 109室	558 561 581室	32 27 16室 (補助職員 0人)	9 5 6室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			令和4年3月 専任教員1名退職のため (4)			
	医学系研究科看護学専攻博士後期課程		12 13 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での共用部分 を含む 施設整備によるもの (4)	
	医学系研究科 看護学専攻 博士後期課程	1,157,042 [336,333] (1,127,466 1,124,011 1,129,661 [322,765 323,332 324,233])	22,856 [8,683] (23,707 23,574 23,286 [7,781 7,712 7,487])	3,028 [2,968] (4,029 3,903 3,616 [2,415 2,347 2,098])	6,724 (6,978 6,929 6,875)	11,117 (12,269 11,898 11,696)	(1)		
	計	1,157,042 [336,333] (1,127,466 1,124,011 1,129,661 [322,765 323,332 324,233])	22,856 [8,683] (23,707 23,574 23,286 [7,781 7,712 7,487])	3,028 [2,968] (4,029 3,903 3,616 [2,415 2,347 2,098])	6,724 (6,978 6,929 6,875)	11,117 (12,269 11,898 11,696)	(1)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	10,615m ²	989 979		784,833 786,305					
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要					大学全体		
	10,486m ²	武道場1、弓道場1、テニスコート22面、水泳プール4基							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	愛媛大学						令和4年度 入学定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	平均入学 定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	令和4年度 入学定員 超過率	備考
	既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号						
法文学部	4	365	3年次 30	1,520	-	1.02	1.03	-	昭和43	愛媛県松山市文 京町3番		
人文社会学科 昼間主コース	4	275	3年次 10	1,120	学士 (法学・政 策学・人文 学)	1.01	1.01	-	平成28	同上		
人文社会学科 夜間主コース	4	90	3年次 20	400	学士 (法学・政 策学・人文 学)	1.04	1.11	-	平成28	同上		
教育学部	4	160	-	640	-	1.03	1.03	-	昭和24	愛媛県松山市文 京町3番		
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	学士 (教育学)	1.03	1.03	-	平成11	同上	令和2年度より入 学定員増(20)	
特別支援教育教員養成課程	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	平成20	同上	令和2年度より学 生募集停止	
社会共創学部	4	180	-	720	-	1.04	1.03	-	平成28	愛媛県松山市文 京町3番		
産業マネジメント学科	4	70	-	280	学士 (社会共創 学)	1.05	1.00	-	平成28	同上		
産業イノベーション学科	4	25	-	100	学士 (社会共創 学)	1.03	1.08	-	平成28	同上		
環境デザイン学科	4	35	-	140	学士 (社会共創 学)	1.02	1.00	-	平成28	同上		
地域資源マネジメント学科	4	50	-	200	学士 (社会共創 学)	1.07	1.08	-	平成28	同上		
理学部	4	225	-	900	-	1.04	1.04	-	昭和43	愛媛県松山市文 京町2番5号		
理学科	4	225	-	900	学士 (理学)	1.04	1.04	平成31	平成31	同上	平成31年度より 学生募集停止	
数学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
物理学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
化学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
生物学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
地球科学科	4	-	-	-	学士 (理学)	-	-	-	平成17	同上	平成31年度より 学生募集停止	
医学部	-	170	2年次 5 3年次 10	945	-	-	-	-	昭和48	愛媛県東温市志 津川454		
医学科	6	110	2年次 5	685	学士 (医学)	1.00	1.00	-	昭和48	同上		
看護学科	4	60	3年次 10	260	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成6	同上		
工学部	4	500	3年次 10	2,020	-	1.01	1.00	-	昭和24	愛媛県松山市文 京町3番		
工学科	4	500	3年次 10	2,020	学士 (工学)	1.01	1.00	平成31	平成31	同上	平成31年度より 学生募集停止	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成3	同上	平成31年度より 学生募集停止	
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成3	同上	平成31年度より 学生募集停止	
環境建設工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成8	同上	平成31年度より 学生募集停止	
機能材料工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成8	同上	平成31年度より 学生募集停止	
応用化学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成3	同上	平成31年度より 学生募集停止	
情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	-	-	平成3	同上	平成31年度より 学生募集停止	
農学部	4	170	3年次 10	700	-	1.05	1.06	-	昭和29	愛媛県松山市榊 味3丁目5番7 号		
食料生産学科	4	70	3年次 5	290	学士 (農学)	1.06	1.08	-	平成28	同上		
生命機能学科	4	45	3年次 2	184	学士 (農学)	1.04	1.02	-	平成28	同上		
生物環境学科	4	55	3年次 3	226	学士 (農学)	1.04	1.07	-	平成28	同上		

大学全体	-	1,770	2年次 5 3年次 60	7,445	-	-	-	-	-	-
------	---	-------	-----------------------	-------	---	---	---	---	---	---

大学の名称	愛媛大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.0倍以上の学科数	5	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
人文社会科学研究所 (修士課程)	2	20	-	40	-	-	-	-	-	令和2	愛媛県松山市文京町3番
法文学専攻	2	12	-	24	修士 (法学、人文学)	0.53	0.66	-	-	令和2	同上
産業システム創成専攻	2	8	-	16	修士 (経済学、学術)	1.00	1.00	-	-	令和2	同上
教育学研究所 (修士課程)	2	50	-	100	-	-	-	-	-	平成5	愛媛県松山市文京町3番
心理発達臨床専攻 (専門職学位課程)	2	10	-	20	修士 (臨床心理学)	0.95	1.10	-	-	令和2	同上
教育実践高度化専攻	2	40	-	80	教職修士 (専門職)	1.01	0.90	-	-	令和2	同上
医学系研究所 (博士課程)	-	44	-	150	-	-	-	-	-	平成10	愛媛県東温市志津川454
医学専攻 (博士前期課程)	4	30	-	120	博士 (医学)	1.10	0.83	-	-	平成18	同上
看護学専攻 (博士後期課程)	2	12	-	24	修士 (看護学)	0.59	0.60	-	-	平成10	同上
看護学専攻	3	2	-	6	博士 (看護学)	1.50	1.50	令和2	令和2	令和2	同上
理工学研究科 (博士前期課程)	-	273	-	569	-	-	-	-	-	平成8	愛媛県松山市文京町3番
生産環境工学専攻	2	62	-	124	修士 (工学)	1.14	1.12	-	-	平成18	同上
物質生命工学専攻	2	61	-	122	修士 (工学)	1.14	1.14	-	-	平成18	同上
電子情報工学専攻	2	59	-	118	修士 (工学)	1.03	1.06	-	-	平成18	同上
数理物質科学専攻	2	40	-	80	修士 (理学)	0.83	0.85	-	-	平成18	同上
環境機能科学専攻 (博士後期課程)	2	28	-	56	修士 (理学)	0.92	0.92	-	-	平成18	同上
生産環境工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.88	0.83	-	-	平成18	同上
物質生命工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.66	1.00	-	-	平成18	同上
電子情報工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	0.16	0.00	-	-	平成18	同上
数理物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	1.75	2.00	-	-	平成18	同上
環境機能科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学)	0.58	0.00	-	-	平成18	同上
農学研究科 (修士課程)	2	72	-	144	-	-	-	-	-	昭和42	愛媛県松山市榊味3丁目5番7号
食料生産学専攻	2	26	-	52	修士 (農学)	0.61	0.88	-	-	平成28	同上
生命機能学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	1.01	0.95	-	-	平成28	同上
生物環境学専攻	2	23	-	46	修士 (農学)	0.67	0.52	-	-	平成28	同上

連合農学研究科 (博士課程)	3	17	-	51	-	-	-	-	昭和60	愛媛県松山市樽味3丁目5番7号
生物資源生産学専攻	3	9	-	27	博士 (農学、学術)	0.69	0.77	-	昭和60	同上
生物資源利用学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学術)	2.08	0.50	-	昭和60	同上
生物環境保全学専攻	3	4	-	12	博士 (農学、学術)	1.91	0.50	-	昭和60	同上
<u>研究科等連係課程実施基本組織</u>										
<u>(修士課程)</u>										
医農融合公衆衛生学環	2	5	-	10	修士 (公衆衛生学)	1.80	1.80	-	令和4	愛媛県東温市志津川454
大学院全体	-	476	-	1,054	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部、学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医学系研究科看護学専攻博士後期課程>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	乗松 貞子 (高) <令和2年4月> 博士(学術)
		生活支援看護開発学特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	八杉 巧 <令和2年4月> 医学博士
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	薬師神 裕子 <令和2年4月> 博士(看護学)
		生活支援看護開発学特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	山内 栄子 <令和2年4月> 博士(保健学)
		生活支援看護開発学特講 地域医療学 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	崎山 貴代 <令和2年4月> 博士(看護学)
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	佐伯 由香 <令和2年4月> 医学博士
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	乗松 貞子 (高) <令和2年4月> 博士(学術)
		生活支援看護開発学特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	八杉 巧 <令和2年4月> 医学博士
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	薬師神 裕子 <令和2年4月> 博士(看護学)
		生活支援看護開発学特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	山内 栄子 <令和2年4月> 博士(保健学)
		生活支援看護開発学特講 地域医療学 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	崎山 貴代 <令和2年4月> 博士(看護学)
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	佐伯 由香 <令和2年4月> 医学博士
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	乗松 貞子 (高) <令和2年4月> 博士(学術)
		生活支援看護開発学特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	八杉 巧 <令和2年4月> 医学博士
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	薬師神 裕子 <令和2年4月> 博士(看護学)
		生活支援看護開発学特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	山内 栄子 <令和2年4月> 博士(保健学)
		生活支援看護開発学特講 地域医療学 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	崎山 貴代 <令和2年4月> 博士(看護学)
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	佐伯 由香 <令和2年4月> 医学博士
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	乗松 貞子 (高) <令和2年4月> 博士(学術)
		生活支援看護開発学特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	八杉 巧 <令和2年4月> 医学博士
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	薬師神 裕子 <令和2年4月> 博士(看護学)
		生活支援看護開発学特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	山内 栄子 <令和2年4月> 博士(保健学)
		生活支援看護開発学特講 地域医療学 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	崎山 貴代 <令和2年4月> 博士(看護学)
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究
専	教授	佐伯 由香 <令和2年4月> 医学博士
		生活支援看護開発学特講 研究方法特講 地域包括ケア開発学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	川本 龍一 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	川本 龍一 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	川本 龍一 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	川本 龍一 <令和2年4月> 博士(医学)
		地域医療学			地域医療学			地域医療学			
兼任	教授	佐藤 格夫 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	佐藤 格夫 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	佐藤 格夫 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	佐藤 格夫 <令和2年4月> 博士(医学)
		地域医療学			地域医療学			地域医療学			
兼任	教授	檜垣 高史 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	檜垣 高史 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	檜垣 高史 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	教授	檜垣 高史 <令和2年4月> 博士(医学)
		地域医療学			地域医療学			地域医療学			
兼任	講師	斉藤 功 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	斉藤 功 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	斉藤 功 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	斉藤 功 <令和2年4月> 博士(医学)
		応用統計学 研究方法特講			応用統計学 研究方法特講			応用統計学 研究方法特講			
兼任	講師	長野 敏宏 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	長野 敏宏 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	長野 敏宏 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	長野 敏宏 <令和2年4月> 博士(医学)
		地域医療学			地域医療学			地域医療学			
兼任	講師	青山 ヒフミ <令和2年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	青山 ヒフミ <令和2年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	青山 ヒフミ <令和2年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	青山 ヒフミ <令和2年4月> 修士(社会学)
		地域看護システム開発学特講			地域看護システム開発学特講			地域看護システム開発学特講			
兼任	講師	松浦 正子 <令和2年4月> 博士(看護学)	兼任	講師	松浦 正子 <令和2年4月> 博士(看護学)	兼任	講師	松浦 正子 <令和2年4月> 博士(看護学)	兼任	講師	松浦 正子 <令和2年4月> 博士(看護学)
		地域看護システム開発学特講			地域看護システム開発学特講			地域看護システム開発学特講			
兼任	講師	榎本 真幸 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	榎本 真幸 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	榎本 真幸 <令和2年4月> 博士(医学)	兼任	講師	榎本 真幸 <令和2年4月> 博士(医学)
		地域医療学			地域医療学			地域医療学			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

【令和3年度】

特になし。

【令和4年度】

・田中久美子准教授辞任により、「生活支援看護開発学特講」「地域包括ケア演習」「地域包括ケア開発学特別研究」を赤松公子准教授が担当。令和3年度2月AC教員審査済み。
・田中久美子准教授辞任。後任未定であるが、専任教員採用予定で公募中。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
6	4	6
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	2	1	0	13	0	10	1	1	0	12	0
(10)	(2)	(1)	(0)	(13)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
10	3	0				10	2	0			
(10)	(3)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	1	1	0	12	0	11	1	1	0	13	0
[0]	[Δ1]	[0]	[0]	[Δ1]	[0]	[1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
10	2	0				11	2	0			
[0]	[Δ1]	[0]				[1]	[Δ1]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{13} = \boxed{92.3} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	田中 久美子	R4.3	必修	生活支援看護開発学特講	①	R4.3.31付け一身上の都合のため辞任 (4)			
				必修	地域包括ケア演習	①				
				必修	地域包括ケア開発学特別研究	①				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	3	科目	計	3	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{13} = 7.69\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) -①、(3) -②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

事前に辞任についての情報を得ていたこともあり、学生には履修前に口頭で担当変更の周知を行うとともに、今年度より別の専任教員に担当を変更するために、昨年度の時点で教員資格審査を申請(結果:有)していたため、スムーズに講義の準備ができ、履修等への影響はないと考えている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和元年)	地域包括ケア開発学の定義や看護学との関係性について、学生が理解できるように学生募集要項等で丁寧に説明し、事前に周知することが望ましい。	留意事項 学生募集要項において看護学専攻の概要として専攻の特色や教育目標を記載し、地域包括ケアを牽引できる看護職リーダー育成のためのカリキュラムについて説明し、学生に事前に周知している。	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学系研究科看護学専攻博士後期課程>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>【新型コロナウイルス感染症対策による計画等の変更】</p> <p>① 遠隔授業の実施に伴う授業計画（シラバス）の変更等</p>	<p>文部科学省の通知（「令和4年度の大学等における学修者本位の授業の実施と新型コロナウイルス感染症への対策の徹底等に係る留意事項について（周知）」）等を踏まえつつ、令和4年度前学期は、「できるだけ日常に近い活動を行う」という考えの下、感染防御対策を徹底し、原則、対面授業を実施することを基本方針としているが、特段の事情により遠隔授業を実施する場合は、部局長（学部長、研究科長）の承認を受けた上で、教育担当理事に報告を行うこととしている。これに伴い、学生の学修機会を確保し、修学等に不利益を生じさせないため、以下のとおり対応した。</p> <p>1. 遠隔授業は平素の状況でも、必要な研究指導を受けなければならない事に留意の上、学生のキャンパス内における学習機会の確保を念頭において授業を実施している。</p> <p>2. 大半が社会人であることや遠方に在住している学生もあり、仕事を終えてから大学までの移動時間の短縮、勤務と学業の両立を支援することを目的として、複数の科目で遠隔授業を実施している。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。